

～歌舞伎を聴く～ 常磐津の魅力

“聴く歌舞伎”と言われるほど、歌舞伎と深い繋がりがある「常磐津」。今回は、常磐津太夫（語り）の巴瑠幸太夫さんをゲストに迎えてお話をお聴きします。さらに、常磐津三味線方の岸澤式松さんにもご登場いただき、常磐津節の聴きどころを太夫・三味線そろった生演奏で実演していただくという贅沢な内容。古典芸能解説の第一人者、葛西聖司さんによる軽快なトークと共に、常磐津の奥深い世界をお楽しみください。

-----常磐津（ときわづ）とは？-----
歌舞伎や日本舞踊などで演奏される三味線音楽。江戸時代に流行し、現在も歌舞伎には欠かせない音楽として受け継がれています。演奏は「語り（太夫）」と「三味線」に分かれており、太夫は登場人物の心情や情景を節のついた語りと唄で情緒豊かに聴かせます。

令和8年 2月21日（土）

可児市文化創造センター ala・映像シアター
13:30～15:30（13:00開場）

チケット料金

全席指定 1,000 円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

発売日

令和7年 12月13日（土）9:00

※電話予約は翌 14 日（日）9:00



ときわづ はるこだゆう ■ ゲスト：常磐津 巴瑠幸太夫

昭和38年静岡県生まれ。実家は伊豆の温泉旅館。平成4年3月 常磐津一巴太夫（人間国宝）に入門。同年7月 常磐津巴瑠幸太夫の名を許される。同年9月 坂東玉三郎の舞踊「山姥」で初舞台。以来、歌舞伎や舞踊の舞台を中心に活躍。平成25年に開催した「人間国宝 常磐津一巴太夫の世界」ではアーラの主劇場に出演している。現在、東京・名古屋・可児・高松に稽古場を構え、京都祇園甲部・宮川町・上七軒では芸舞妓の指導にあたっている。小唄名は春日流春日豊佐福。

【受賞歴】

平成18年 京都市芸術新人賞受賞
平成20年 日本伝統文化奨励賞受賞
平成22年 財団法人清栄会奨励賞受賞



かさい せいじ ■ 講 師：葛西 聖司

東京都生まれ。NHK アナウンサーとしてテレビ、ラジオのさまざまな番組を担当してきた。現在はその経験を生かし、歌舞伎など古典芸能の解説や講演、セミナーなどを全国で展開。執筆活動も続けている。地芝居大国ぎふ応援大使、早稲田大学公開講座、NHK文化センター、朝日カルチャーセンター講師、日本演劇興行協会理事

【著書】

「僕らの歌舞伎」（淡交社）
「文楽のツボ」（NHK出版）
「名セリフの力」「ことばの切っ先」（展望社）
「教養として学んでおきたい歌舞伎」（マイナビ新書） ほか

©山口直也



きしざわ しきまつ ■ 特別出演：岸澤 式松 常磐津節三味線方

▼ チケット取り扱い

可児市文化創造センター ala・インフォメーション
〒509-0203 岐阜県可児市下恵土 3433-139

Tel.0574-60-3050

9:00-19:00 火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み

▼ お問い合わせ

可児市文化創造センター ala

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土 3433-139

URL <https://www.kpac.or.jp> TEL.0574-60-3311

9:00-22:30 火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み

▼ 公演ウェブサイト



※サービスの詳細は
アーラ web ページをご覧ください。